

たくさんのご意見ありがとうございました



市長

「炭鉱遺産活用に関する市民説明会」が3月に東公民館で、4月に3会場を追加して行われました。市から「炭鉱遺産活用に関する基本構想(案)」をもとに、炭鉱遺産周辺の目指す姿や概算事業費について説明をしました。

説明会では、皆さんから財政面を心配されるご意見や疑問に思うことについて、様々な声をいただきました。市は皆さんからの声をもとに、さらに検討を重ねて基本構想をまとめ、5月下旬からの住民懇談会や広報などでお知らせしたいと思います。

今号では、説明会の各会場で寄せられたご意見・ご質問を掲載します。

【説明会の開催状況・参加者数】

3月9日(木)	東公民館	82名
4月10日(火)	福栄集会所	32名
4月11日(水)	文京生活館	36名
4月12日(木)	みらい	34名
4日間合計		184名

質 質疑 答 回答 意 意見

財政・財源

将来にツケが回る形になるのではないか。

質 答 ふるさと納税や企業協力など、様々な方法を考えながら負担の軽減を図っていきます。

質 答 総事業費17億円のうち市の実質負担額は3億円ということだが確定ではないだろう。

質 答 立坑の保存や施設建設は否定しないが、維持費が明らかにされないと市民は判断できない。

質 答 整備は進めたいと思いますが、財政状況が厳しければ無理に進めるつもりはありません。国の財源は活用できるものはつかっていきたいと考えます。

質 答 ガイダンス施設の運営に、年間1千万円ほどの維持費が必要と試算していますが、現在、縮減方法について検討しています。

質 答 総事業費17億円をかけてまでも行う事業か。将来子どもが減っていくのに、借金を残し

てまでやる必要があるのか。

質 答 17億円はすべての事業を行った場合の金額です。立坑の緊急的な改修と、国の拠点整備交付金の交付決定を受けて

整備するガイドンス施設は行ってください。将来、赤字を担つ

ていく世代のためにも炭鉱遺産を残したいと思います。まずはガイドンス施設の建設、その後

は市民の意見をしっかりと伺います。まずは財源がなければやりません。

質 答 かつて財政再生団体となる危機を経験した。つくるべきではない無駄な事業をやめ、再検討する必要があると思う。

質 答 今後、人口は増加または現状維持としないと炭鉱遺産も赤平市自体も成り立っていない。総合戦略の重点目標に炭鉱遺産の保存・継承はあるが、ほかにも産業振興など重要な項目がある。その中で、最初に行う事業が炭鉱遺産というのは疑問だ。

質 答 総合戦略にある子育て支援や住宅助成など、暮らしを充実させる施策はすでに取り組んでいます。また、市内に産業がなくなってしまうと人口減少の歯止めが利かなくなりますので、

質 答 産業振興の充実も図っています。炭鉱遺産整備は財政的に無理なときには進めません。

意 近隣に同じような施設があるのに、交付金があるから整備するというのは安易な考え方だと思う。

総合戦略・人口減少対策

近隣に同じような施設があるのに、交付金があるから整備するというのは安易な考え方だと思う。

質 答 行った場合の金額です。立坑の緊急的な改修と、国の拠点整備交付金の交付決定を受けてください。将来、赤字を担つ

ていく世代のためにも炭鉱遺産を残したいと思います。まずはガイドンス施設の建設、その後

は市民の意見をしっかりと伺います。まずは財源がなければやりません。

質 答 かつて財政再生団体となる危機を経験した。つくるべきではない無駄な事業をやめ、再検討する必要があると思う。

質 答 今後、人口は増加または現状維持としないと炭鉱遺産も赤平市自体も成り立っていない。総合戦略の重点目標に炭鉱遺産の保存・継承はあるが、ほかにも産業振興など重要な項目がある。その中で、最初に行う事業が炭鉱遺産というのは疑問だ。

質 答 総合戦略にある子育て支援や住宅助成など、暮らしを充実させる施策はすでに取り組んでいます。また、市内に産業が

なくなるてしまうと人口減少の歯止めが利かなくなりますので、

質 答 産業振興の充実も図っています。炭鉱遺産整備は財政的に無理なときには進めません。

情報公開

質 市民に対する説明が不足している。何回も説明し、みんな

思えない。まずは観光客が対象という認識でよいか。

質 まずは交流人口を増やし、観光振興や飲食店などへの経済効果を期待しています。

質 赤平市では高校生まで医療費が無料で助かっています。

質 これからは保育料の完全無料化や給食費の無料化、思い切って大学の授業料や修学旅行費用まで無料化するなどの取組の方が育て世帯の移住が見込める。こうした赤平市独自の教育・子育て施策を充実していく方がいいと思う。

質 子どもへの支援は、総合戦略と「子ども子育て支援計画」に基づいて施策を行っています。炭鉱遺産も子育て施策も両方とも、子どもたちのためと

いう気持ちで進めています。



なに理解してもらえるようにしないと、市民は不安だ。

答 広報を通じてお知らせしていきます。また、住民懇談会などで町内を回るので、十分に伝えていきたいと思います。

質 案をつくる前に市民の意見を吸い上げられるようにす

べき。協議会の公開など、市民が納得できる形にすべきと思う。

答 今後は委員の公募など、やり方を検討したいと思います。

公園・スポーツゾーン

質 スポーツゾーンを整備してあるのか。

答 サッカー場やテニスコートなどを総合体育館に近い立地をいかして炭鉱遺産周辺に集中したいと考えています。総合体育館の近くにまとめて雨天時の利用や合宿活動など子どもたちを呼び込めるものとを考えます。パークゴルフ場など河川敷にあるスポーツ施設は、災害時につかえなくなる可能性がありますので、安全な場所に移したいと考えます。

意 赤平は子どもの数が少ない。公園、スポーツゾーンなど、多額のお金をかけて整備する意

味があるのか疑問に思う。

意 市内の企業がロケットや科

学技術など、学生が興味を持つ教育体験を行っているが、その学生が炭鉱に興味を持つてくるのかは疑問に思う。

質 流れてくるのかは疑問に思う。

意 その他の質問・意見

文化財認定への取組

質 「炭・鉄・港」で連携し日本遺産の認定を目指していると

答 聞いた。赤平市はほかの市町に付随する形で認定申請するのか。

質 日本の産業を支えた北海道の「炭鉱・鉄鋼・港・鉄道」の結びつきというストーリー

で、北海道と関係市町が連携して認定を目指します。2020年東京オリンピックまでに文化庁も全国で100件程度の日本遺産認定が適当との見解を示しています。

施設の管理・運営

質 炭鉱のガイド・語り部は10年先も確保できるのか。

答 赤平市はガイドのマニュアルを空知管内で最初に作成しました。TANtan(ガイド



学習が行われているので、教育分野の来場者を見込んでいます。文化財指定によつても来場者数は大きく変わると想います。

意 全国的に見て炭鉱遺産施設をつくったあとは、人の出

入りがないガラガラの施設が多い。赤平の構想も同じに思える。

意 炭鉱をメインに観光産業をするというのは無理があると思うし、炭鉱遺産保存と観光を結びつけるのは反対。



今後について

質 5年後に成果の検証を行うとしているが、その時点でこれ以上必要ないとなつた場合、計画の中止はありえるのか。

答 検証は市民団体などにお願いすることになると思いま

す。今後の事業を行つにあたつては市民の意見を聞き、反対がいすことには整備を行わないことを含めた見直しも行います。

質 5年後には立坑などの公共施設を立坑などは公共施設という扱いになりますので、施設単体の管理費を入場料だけでもかなうということは考えていません。市内で食事や買い物をしていただき、複合的な波及効果を狙いたいと考えています。

質 施設をつくるときには収入や来場者数の試算をすべきものではないか。

質 住友は立坑の解体をいくらで見積もつていたのか。市

答 細かな試算は行つていません。最大の目的は「歴史の継承」と考えています。すでに小中

学校などで炭鉱遺産を活用した

まちが存続する限り保存したいと考えています。

質 赤平には住友だけでなく多くの炭鉱があつた。赤平の炭鉱遺産が注目されるようになつたのは住友の立坑がきっかけと思うが、住友以外の炭鉱遺産は保存・継承の対象外か。

質 決してほかを無視したわけではありませんが、住友の現存資料の保存状況がよかつたということです。

質 構想案に「人の働きていたところが来ないと思う」ということです。

質 ぬくもり、記憶、魂を感じる」とあるが、今の小中学生は何も感じないと思う。

質 碳鉱遺産を教育施設として設かどうかということは別次元の話と考えます。生まれ育つた場所を知るための教育の場と捉えていただけたらと思います。

質 考えると、子どもが喜ぶ施設かどうかといふことは別次元の話と考えます。生まれ育つた場所を知るための教育の場と捉えていただけたらと思います。

質 エルム森林公園や住吉の飛行場など、以前に手がけたものは失敗に終わった。なぜまた失敗を繰り返そうとするのか。

質 炭鉱に携わっていない市民と関係している市民との温

度差を感じる。

質 整備されて「きれいな立坑」というのは違和感を感じる。

意 朽ちていく様子も味があり、記憶に残るのではないか。(以上)